

令和7年第4回定例議会に係る行政報告

定例議会の開会にあたり、議長より発言の機会をいただきましたので、一言ご挨拶のうえ、行政報告をさせていただきます。

まず以て、議員の皆様におかれましては、日頃から議会活動等を通じて本村の振興発展にご尽力賜っておりますことに心から敬意を表する次第であります。

さて本日、招集させていただきました本年最後の定例議会には、村から専決処分に係る報告案件1件、条例改正案件1件及び鶴居村地域特産品等販売促進施設「鶴居たんちょうプラザ」に係る指定管理者の指定案件1件、さらに、一般会計などの補正予算案件3件の計6件の事案について、提出しておりますので慎重なご審議をいただき、深いご理解を賜りたいと存じます。

それでは、令和7年第3回定例議会閉会以降の主な行政報告を行います。

最初に、村上明寛氏の教育長退任並びに田中敏行氏の教育長就任についてであります。

令和元年10月1日より2期6年の間、教育長を務めた村上明寛氏が9月30日の任期満了をもって退任し、先の定例会において田中敏行教育長の選任同意をいただいた10月1日付で教育長に選任いたしました。

村上前教育長においては、新型コロナウイルス感染症の拡大による休校措置への対応など、就任直後から大きな困難に直面しましたが、国によるGIGAスクール構想や鶴居中学校の大規模改修事業に取り組むなど、本村の教育行政の推進に手腕を発揮されたところであり、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

田中教育長においては、これまでの教育現場や教育行政での経験などを生かしてもらい、幅広い視野をもって本村教育行政の推進に当たって欲しいと考えております。

次に、音羽橋周辺の民有地取得についてであります。

今後のタンチョウ保護や景観保全などの観点から、音羽橋周辺の民有地およそ7.5ヘクタールについて、村は公益社団法人日本ナショナル・トラ

スト協会との共同により取得することといたしました。

今回取得する民有地については、タンチョウの生息域として貴重な自然環境を有し、また、全国的な観光スポットでもあります音羽橋からの景観を形成する位置にあることから、本村にとりまして極めて重要なエリアと認識しております。

当該民有地の取得に当たっては、地権者をはじめ、太陽光発電事業を行う予定であった関係者などのご理解をいただくとともに、全国から多くの寄附が寄せられたことから、今後もタンチョウ保護や生息地における生物多様性の保全、さらに、かけがえのない景観を守りながら村施策を進めてまいりたいと考えております。

なお、以降の内容は、配付しております資料に沿って報告をさせていただきます。

最初に、1 ページ中段に記載の「北海道消防協会釧路地方支部消防団員技能大会」についてであります。

去る 9 月 20 日、釧路市消防訓練場において北海道消防協会釧路地方支部消防団員技能大会が開催され、本村からは鶴居消防団の第 1 分団が消防ポンプ自動車の部に、第 3 分団及び第 4 分団の合同チームが小型ポンプの部にそれぞれ出場したところであります。

大会では、管内市町村の消防団から出場した総勢 25 チームがスピードや基本動作の正確さなどを競い、第 1 分団が消防ポンプ自動車の部で第 5 位、合同チームが小型ポンプの部で第 3 位となり、訓練成果を発揮していただきました。あらためて、長期間にわたって訓練に励んでいただいた団員の皆様に敬意と感謝を申し上げる次第であります。

次に、同じく 1 ページ中段に記載の「2025 鶴居村ふるさとまつり」についてであります。

去る 9 月 23 日、茂雪裡川河畔特設会場において、実行委員会主催による「2025 鶴居村ふるさとまつり」が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、絶好の秋晴れのもと、会場には例年以上に多くの皆様にご来場いただき、鶴居小学校児童のタンチョウソーラン演舞や新たに結成された鶴居フィルハーモニーの演奏をはじめとするステージイベ

ント、さらに村内外各事業所の出店などによって会場内に賑わいが創出され、素晴らしい秋の一日を過ごしたところでもあります。

次に、同じく 1 ページ中段に記載の「地域資源を活用した地方創生の取組に係る表敬訪問」についてであります。

去る 9 月 26 日、首相官邸において、私を含む管内の 5 市町村長（釧路市、厚岸町、浜中町、標茶町、鶴居村）とともに、伊東良孝内閣府特命担当大臣にもご同行いただき、「地域資源を活用した地方創生の取組」を説明するため、石破茂内閣総理大臣を表敬訪問いたしました。

当日は地方創生の推進に向けた取組状況に加え、SL 冬の湿原号を運行する釧網線の活性化について報告し、地域の貴重な資源として今後も積極的に活用していく考えを石破総理に直接お伝えしながら、意見交換をしてまいりました。

また、釧網線の魅力発信の一環として、石破総理に鉄道模型「SL 冬の湿原号」を贈呈し地域資源を活かした取組への理解努めたところでもあります。

次に、2 ページ上段に記載の「全国中山間地域振興対策協議会令和 8 年度予算政策提案活動」についてであります。

去る 10 月 2 日、今年 2 回目の提案活動に、当協議会の会長であります後志管内の金蘭越町長をはじめ、他の役員とともに参加してまいりました。

当日は、来年度の中山間地域振興対策の予算・施策に関する提案書を農林水産省農村振興局や財務省農林水産担当主計官に提出したほか、今日の農業情勢などについて意見交換を行ってきたところでもあります。

次に、同じく 2 ページ中段に記載の「鶴居村植樹祭 上幌呂ミツバチの森整備事業」についてであります。

例年、春に実施しております植樹祭ですが、今年より新たな取組として、村内に事業所を構える有限会社西岡養蜂園（代表取締役 西岡千年）のご協力のもと、10 月 9 日に旧上幌呂小中学校敷地内において「蜜源植物を育て、ミツバチの森をつくる」ことを目的に実施いたしました。

当日は、秋晴れの中で議員、並びに上幌呂地域の住民をはじめ、関係者合わせて 30 名ほどの参加をいただき、上幌呂コミュニティセンター裏に蜜源となるエンジュやボダイジュなど苗木を植樹したところでもあります。

今後、こうした取り組みの継続によって、村内で蜜源の地を確保しながら、将来に向けた新たな農産物の栽培環境を作り出す取組みにつながっていくことを期待するものであります。

次に、同じく2ページ中段に記載の「鶴居村釧路北部消防事務組合加盟20周年記念式典並びに祝賀会」についてであります。

去る10月13日、村総合センターにおいて、鶴居村が平成17年10月に釧路北部消防事務組合に加盟して今年で20年の節目を迎えるにあたり、弟子屈町、標茶町及び本村関係者による記念式典並びに祝賀会を開催いたしました。

当日は、鈴木貴子衆議院議員、議員皆様のほか多くのご来賓にもご出席を賜り、これまでの消防事務の歴史を振り返るとともに、改めて3町村による消防事業をはじめとした様々な分野で連携を確認する機会としたものであります。

次に、同じく2ページ下段に記載の「全国山村振興連盟副会長会議」についてであります。

去る10月14日、全国町村会館において「全国山村振興連盟副会長会議」が開催され、私も当連盟の副会長の立場で出席してまいりました。

会議では、後ほどご報告させていただく、全国山村振興連盟通常総会の議事内容や、山村地域に関連する振興施策などの中央要請行動に関しての確認がなされたところであります。

次に、3ページ上段に記載の「第23回本州在住鶴居会」についてであります。

去る10月19日、東京上野で開催されました「第23回本州在住鶴居会」に松井議長をはじめ関係職員とともに出席してまいりました。

当日は、下山和美会長はじめ会員、関係者20名ほどが出席する中、和やかな雰囲気の中で交流会が執り行われたところであります。

本州在住鶴居会が来年、創設50周年の節目に向かう中、半世紀にわたり本村と本州在住者をつなぐ架け橋として活動を続けてまいりました。

こうしたことから、今年の交流会は極めて意義深いものとなり、あらためて参加された会員皆様がふるさと鶴居村への思いを新たにしている様子

をうかがえたところであります。

次に、3 ページ上段に記載の「地域の持続的発展を考える自治体連絡会による中央行動」についてであります。

去る 10 月 21 日と 22 日の両日、道内 11 の町村で構成し、私が会長を務めます「地域の持続的発展を考える自治体連絡会」による中央要請活動に、関係する町村長とともに参加してまいりました。

要請活動では、伊東良孝前内閣府特命担当大臣や鈴木貴子衆議院議員をはじめ、自由民主党過疎対策特別委員会委員長を務める谷公一衆議院議員や道内選出国會議員などに対し、11 町村の過疎対策に係る取組みなどを伝えてきたところであります。

また、今後における過疎対策の強化や過疎債の総額確保などを要望するとともに、地域課題に関する意見交換などを行ってきたところであります。

次に、同じく 3 ページ上段に記載の「日本で最も美しい村」連合 20 周年式典についてであります。

去る 10 月 24 日、「日本で最も美しい村」連合 20 周年式典が東京秋葉原の富士ソフトアキバプラザで開催され、私も当連合の副会長の立場で出席してまいりました。

当日は、全国各地から 157 名の関係者が集い、これまでの当連合の歩みを振り返るとともに、今後の目指すべき方向や未来像について認識を共有する場となったところであります。

式典では、当連合の発足以降、会長として長年にわたりその発展に尽力された前美瑛町長の浜田哲氏への感謝状が贈呈されるとともに、20 周年を記念したトークセッションが行われ、本村の株式会社丘の上わくわくカンパニー副社長であります服部大地氏をはじめ各分野で活動するパネリストが、自身の取組や今後の連合が目指すべき方向性について意見を交わしました。

また、式典終盤において、私が『「日本で最も美しい村」連合の輝く未来に向けた宣言』を行い、連合として今後も力強く歩みを進めていく方針を表明したところであります。

次に、同じく 3 ページ中段、さらに 4 ページ中段に記載の「村政懇談

会」についてであります。

今年度も、例年実施しております村政懇談会を、去る 10 月 27 日から 11 月 14 日までの間、村内 9 地域において開催し、地域課題や行政に対する意見などを伺ってまいりました。

各地域からは、エゾシカなどによる有害鳥獣被害をはじめ、道路や河川の補修、昨今の酪農情勢、さらに環境美化や観光客等のマナー対策など各分野にわたって多くの要望や意見を寄せていただいたところであります。

寄せられた要望内容等については、今後、行政施策などに活かすよう努力をしてまいりたいと考えております。

次に、同じく 3 ページ下段に記載の「村治功労者表彰」についてであります。

去る 11 月 4 日、鶴居村表彰条例の規定に基づき、今年度の村治功労者表彰式を役場で厳粛のうちに執り行いました。

今年度は、自治功労者が 2 名、社会功労者が 3 名、善行者が 1 法人の 6 名の村勢振興に寄与された村民の方々を表彰させていただきました。

当日は、5 名の受賞者に表彰状や記念品を贈呈するとともに、松井議会副議長から祝辞をいただき、受賞者のこれまでの功労を称えていただいたところであります。

受賞された皆様には、今日まで本村の振興発展にご尽力いただきましたことに、重ねて感謝とお礼を申し上げる次第であります。

次に、4 ページ上段に記載の「鳥取県立倉吉農業高等学校創立 140 周年記念式典」他についてであります。

去る 11 月 6 日、昭和 31 年以来、村への酪農実習生受入れなど 70 年にわたり交流を行う鳥取県立倉吉農業高校の創立 140 周年記念式典が鳥取県倉吉市にて開催され、出席してまいりました。

当日は、倉吉農業高校の歴代校長をはじめ学校関係者や同窓会、県や在校生、近隣自治体の首長など、多くの関係者が出席する中で厳粛の内に挙行されました。

記念式典では、本村に対し 70 年にわたる酪農実習受入れに対する感謝状を贈呈されるとともに、祝賀会の席上において私が代表して祝辞を述べさせていただきましたところであります。

今回の記念式典への出席などから、改めて同校との長きにわたる交流の歴史とその意義を深く感じてまいりました。

また、式典前日には、鳥取県教育委員会を訪問し、足羽英樹教育長と鳥取県教育情勢などについて、意見交換も行ってきたところであります。

次に、同じく4ページ上段に記載の「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議・市町村長会議及び第16回学習・交流会」についてであります。

去る11月6日、国際的に重要な湿地を保護する「ラムサール条約登録湿地市町村会議・市町村長会議」などが釧路市において開催され、出張中の私の代理として高松副村長が出席いたしました。

釧路市での会議は、平成元年以来、実に36年ぶりの開催となり、議事では新登録湿地となった福島県猪苗代湖の構成3市町の入会が報告され、学校教育における湿地学習カリキュラムの充実など、今後の登録湿地市町村の取組を掲げた「釧路市宣言」が採択されたところであります。

次に、同じく4ページ上段に記載の「鶴居村台湾野鳥写真展開幕式」をはじめとした台湾訪問についてであります。

去る11月9日、今後における台湾からの観光誘客の強化や友好・交流を図る事業展開の検討を行うとともに、村と台湾双方での写真展が企画され、和田観光協会理事長や片桐事務局長とともに、台湾台北市や新竹市、および台中市などを訪問してまいりました。

訪問先の新北市において、例年、本村に多くの台湾からの旅行者の来訪があり、今後の交流や観光振興における連携を推進するため、今回台湾の写真展を主催した「台湾フォルモサ野鳥協会」との友好交流及び観光推進連携の協力に関する協定を締結してまいりました。

また、同時期に開催された「台湾国際旅行博覧会2025」において、会場内に開設された北海道ブースで釧路地域のPRを行い、翌10日には釧路市から贈呈されておりますタンチョウを視察するため台湾市立動物園を訪問するなど、今後の台湾との交流促進に向けて大変意義深い視察を行ってきたところであります。

次に、同じく4ページ中段に記載の「治水事業促進全国大会」並びに「北海道「命のみち」づくりを求める東京大会」についてであります。

去る 11 月 11 日、全国治水期成同盟会連合会主催による令和 7 年度の治水事業促進全国大会が、全国の市町村長 448 名の出席のもと開催され、出張中の私の代理として高松副村長が出席いたしました。

大会では、激甚化する豪雨災害に対する備えとして、東京大学の羽藤教授による「地域の歴史から考える流域治水の実践と課題」と題する特別講演や被災自治体の首長による意見発表、さらに令和 8 年度の治水関係予算の確保などの決議が採択されたところであります。

続いて、同日開催された「北海道「命のみち」づくりを求める東京大会」についてであります。

高規格道路などの整備促進のため、鈴木北海道知事をはじめ、全道市町村長 108 名や道路団体関係者など、合せて約 300 名が一堂に集い、令和 8 年度の国予算確保に向けた「北海道「命のみち」づくりを求める東京大会」が開催され、引き続き私の代理として高松副村長が出席いたしました。

特に広範な道内においては、経済活動や救急搬送、さらに災害時の緊急輸送など、高規格道路をはじめとした道路交通網は、道民の命と暮らしを守る「命のみち」となっていることから、高規格道路のさらなる延伸や道路整備に関する予算の確保など、当日出席した酒井庸行^{さかいやすゆき}国土交通副大臣や道内選出の国会議員に対する強い要請活動がなされたところであります。

次に、同じく 4 ページ中段に記載の「札幌ふるさと鶴居会」についてであります。

去る 11 月 15 日、4 回目となります「札幌ふるさと鶴居会」が札幌市内で開催され、松井議会議長をはじめ、田中教育長並びに関係職員とともに出席してまいりました。

当日は、松井孝篤会長をはじめ 24 名の会員、関係者が出席する中、盛会に開催されたところであります。

会場では、村に関するクイズや抽選会などで盛り上がり、各テーブルでは旧交を深める会員同士の姿が見られ、わが故郷に想いを寄せた交流は、大変意義深いものとなりました。

次に、同じく 4 ページ下段に記載の「全国過疎地域連盟第 60 回総会」についてであります。

去る 11 月 17 日、全国過疎地域連盟総会に指定地域の首長として出席し

てまいりました。

総会では役員改選の他、令和8年度過疎対策関係政府予算・施策に関する決議や要望、今後における連盟組織の要請活動方法などについての審議がなされ、賛同してきたところであります。

次に、同じく4ページ下段に記載の「北海道酪農振興町村長会議中央要請行動」についてであります。

去る11月18日に行われた、道内酪農地域の首長で組織する北海道酪農振興町村長会議の中央要請行動に、当会議の会長の碓氷部町長はじめ、43名の町村長とともに参加してまいりました。

要請行動では、農林水産省幹部のほか、道内選出国會議員に対して要望書を提出し、昨今の厳しい酪農情勢を訴えるとともに、酪農における経営安定対策等の推進や畜産酪農生産基盤の維持と強化対策、鳥獣被害対策の強化などについて要望してきたところであります。

また、同日の午後に実施された北海道開発予算に関する要請活動として北海道道路整備促進協会の中央要請に、当協会の会長の碓氷部町長はじめ、84名の市町村長とともに参加してまいりました。

要請行動では、国土交通省幹部のほか、道内選出国會議員に対して要望書を提出し、高規格道路等の整備促進や国土強靱化の取組に必要な予算・財源の確保などを要望してきたところであります。

次に、同じく4ページ下段に記載の全国町村長大会についてであります。

去る11月19日、東京渋谷のNHKホールで開催された全国町村長大会に、管内首長とともに出席してまいりました。

当日は、全国町村会長を務める棚野白糠町長が冒頭の開会挨拶を務めるとともに、高市早苗内閣総理大臣をはじめ、額賀福志郎衆議院議長、林芳正総務大臣などが来賓として招かれる中、地方創生や防災減災対策、少子化対策や過疎対策等の推進のほか、来年度の国家予算に係る要望内容などを決議されたところであります。

また、同日開催された「全国防災・危機管理セミナー」に出席してまいりました。このセミナーは、全国の市町村長を対象として災害発生時に首長が的確な対応を行うことを目的に平成26年度から開催されており、会場には林芳正総務大臣も出席される中、防災科学技術研究所の講演などから、

この9月に釧路地域でも発生した線状降水帯による集中豪雨や今後発生が危惧される千島海溝周辺海溝型地震など、予期せぬ災害に対する危機管理のあり方を改めて考える機会となりました。

次に、同じく4ページ下段に記載の「自由民主党山村振興特別委員会」についてであります。

去る11月20日、自由民主党本部において開催された自由民主党山村振興特別委員会に出席してまいりました。

特別委員会では、令和8年度の山村振興関係予算の概算要求について農林水産省による説明を受けた後、全国山村振興連盟からの要請を行い、副会長である私からは、ヒグマ対策や多面的機能支払交付金事業の充実などについて要望してきたところであります。

また、当日、全国山村振興連盟通常総会も開催され、令和8年度の山村振興関係予算・施策に関する要望書及び決議案の審議がなされ、承認されたところであります。さらに、総会終了後には、全国山村振興連盟の中央要請行動に参加して、関係国会議員や農林水産省等を訪問し、山村振興対策の強化や山村地域の持続的発展の確保など、来年度の山村振興対策予算や各施策に関する提案活動を行ってまいりました。

以上で、私からの行政報告といたします。